

# プロフィール:

氏名	間苧谷 榮 (Maotani, Sakae) ( <a href="mailto:maotani@asia-u.ac.jp">maotani@asia-u.ac.jp</a> )
職名	教授
担当科目	[学部] 国際地域研究入門(2年次前期) 現代インドネシア研究(3・4年次後期) ワールド・イシュー(観光とグローバル化:2・3・4年後期) オリエンテーション・ゼミ(1年次前期) 基礎ゼミ(2年次前期)、 プレ専門ゼミ(2年次後期)、 専門ゼミ(3年次)、 総合ゼミ(4年次)。 [大学院修士課程] 経済社会構造研究、 経済社会構造論演習、 外国文献研究(インドネシア語)。 [大学院博士課程] 経済社会構造特殊研究。
最終学歴	一橋大学大学院経済学研究科(経済政策・経済史専攻)博士課程
学位	経済学博士(一橋大学、昭和60年3月)
主な職歴	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所インドネシア・オセアニア部門研究員。この間、2年間、インドネシア大学文学部日本科(日本研究講座)客員講師(日本国外務省派遣)。東京外国語大学外国語学部兼任講師。 亜細亜大学経済学部国際関係学科助教授・教授、亜細亜大学大学院経済学研究科教授。この間、東京外国語大学、一橋大学、八千代国際大学、成蹊大学などで非常勤講師。 亜細亜大学国際関係学部国際関係学科教授。 この間、国際関係学部学部長、学校法人亜細亜学園理事(4年間)、オーストラリア国立大学太平洋・アジア研究所政治・社会変動学部客員研究員(1年間)、立教大学「人の移動と文化変容研究センター」(オープン・リサーチ・センター)アドヴァイザリー・ボード・メンバー(現在)。
専門分野	インドネシアを対象とする学際的な地域研究。 社会変動論。 観光人類学・観光社会学。
研究テーマ	現代インドネシアの経済発展と政治・社会変動。 バリ(インドネシア)における観光業と社会文化変動。 観光とグローバル化に関する理論的研究。
主な研究業績	1. 『現代インドネシアの開発と政治・社会変動』(Development and Socio-political Change in Contemporary Indonesia) 勁草書房、2000年。 <a href="#">目次(著書へ)</a> 2. 『インドネシア研究～ナショナリズムと文化』(Contemporary Indonesian Study: Nationalism and Culture) 勁草書房、1983年。 <a href="#">目次(著書へ)</a> 3. 「バリ島における観光業と寺院システム～観光と社会文化変動に関する研究(その一)」(Tourism and the Temple System in Bali: A Note on

	<p>Tourism and Socio-cultural Changes(1) ) 『国際関係紀要』( 亜細亜大学国際関係研究所) 第 15 巻第 1 号 (2005 年 9 月) 53-73 ページ。 <u>亜細亜大学国際関係学部ホームページ</u>。</p> <p>4. "The Political Process in Indonesia between the General Election and the Presidential Election of 1999" ( 英文 ) 『国際関係紀要』 第 10 巻第 2 号(2000 年 10 月) <u>亜細亜大学国際関係学部ホームページ</u>。</p> <p>5. 「エビとマングローブと ODA ~ インドネシア、バリにおける JICA の開発援助」( Shrimp, Mangrove and ODA : JICA's Development Assistance in Bali, Indonesia) 亜細亜大学アジア研究所 『プロジェクト報告書』 No.26、1999 年。</p> <p>6. 「インドネシアにおける報道の自由とインターネット~ 『テンポ・インタラクティブ』を中心に」(Freedom of the Press and Internet in Indonesia with special reference to "Tempo Interaktif")、亜細亜大学アジア研究所 『プロジェクト報告書』 No.12、1996 年。</p> <p>7. 「観光研究に関する覚書 ~ &lt; 開発と文化 &gt; 研究の視点から」(An Inquiry into the Changing Approaches to Culture in Tourism and Development Studies)、亜細亜大学アジア研究所 『プロジェクト報告書』 No.5、1995 年。</p> <p>その他。</p>
<p>主な教育業績</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マルチメディア機器を利用した授業の実施：平成 13 年度以降毎年、二つの担当科目講義、すなわち、「地域研究概論」(平成 17 年度以降、「国際地域研究入門」に改称) および、「東南アジアの政治・経済 I」(平成 18 年度以降、「現代インドネシア研究」に改称)でパワーポイントを使って講義を行っている。これらの講義では、DVD、CD などをできる限り利用するように努めている。</li> <li>2. 講義内容の WEB での公開：上記の二科目の講義内容を PDF 化したものを大学のウェブ・サイト上の自らのホームページで公開している(年度により、一般公開の場合と受講者限定公開の場合がある)。</li> <li>3. 教材の作成：「地域研究概論」(平成 17 年度以降、「国際地域研究入門」に名称変更) 及び、「東南アジアの政治・経済 I」(平成 18 年度以降、「現代インドネシア研究」に名称変更)の教材(パワーポイント版)を PDF 化し、授業実施数週間前に、ハンド・アウトとして学生に配布している。</li> <li>4. 教育上の能力に関する大学の評価：平成 16 年 3 月、「地域研究概論」の講義が平成 15 年度教育奨励制度(大学の「教育奨励制度規程」にもとづく制度)による奨励科目に正式に選定された。</li> </ol>